

(別添1-1)

基礎講座「小さな芽から始める一農家の想いを商品にする6次産業化チャレンジ講座」カリキュラム

	月日	曜日	時間	研修内容	講師	研修会場
第1回	6月24日	水	13:30 ～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・研修主旨及びスケジュール説明 ・我が農場のありたい姿とは ・ありたい姿を事業計画に落とし込む目的と手法 ・売れる商品とは何か ・6次化事業計画策定に挑む考え方 	新潟県地域プランナー ・新谷梨恵子 ・手塚貴子	新潟県農業大学校
第2回	8月5日	水		<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発、販路拡大に取り組む目的と手法 ・価格と利益の考え方 ・商品ストーリーの作り方 ・ネットワーク作り ・POP広告の作り方(ワーク) 	新潟県地域プランナー ・新谷梨恵子 ・竹谷知江子	新潟県農業大学校
第3回	10月21日	水		<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例研究 店舗運営と顧客様が求める商品作り ・売り方、価格、ストーリーなど、商品作りのポイント 	(有)おおた ・太田和枝 新潟県地域プランナー ・新谷梨恵子	上越市 (有)おおた ごぼん屋カフェ COME & CO.
第4回	12月16日	水		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画発表 ・事業計画実践に挑む心構え 	新潟県地域プランナー ・新谷梨恵子 (有)ケーエスファーム ・加勢健吾	新潟県農業大学校

※1 最終的に、受講者が事業計画を作成し発表します。事業計画とは、マルシェ実践計画、ネット販売実践計画、商品開発計画、販路開拓計画、事業者間連携計画など、受講者が解決したい課題に基づく事業計画です。

※2 事業計画作成にあたり、グループ討議・グループ研究・先進事例研究などを行います。

※3 11月に開催されるフードメッセinにいがた2026への出展が可能です。

※4 別途開催される「商品情報発信や販売などの経済活動を運営できる仕組み作り応用研修」と併せて受講することも可能です。

(別添1-2)

応用講座「商品情報発信や販売などの経済活動を運営できる仕組み作り講座」カリキュラム

	月日	曜日	時間	研修内容	講師	研修会場
第1回	7月8日	水	13:30 ～ 16:30	○「商品情報発信仕組みづくり」による自社商品のPRについて 【座学】 ・現状のニーズと自社商品の可能性 ・様々な販売チャネルへの可能性	新潟県地域プランナー ・遠藤智弥	新潟県農業大学校
第2回	8月19日	水		○「商品情報発信仕組みづくり」を活用した他社と連携した情報発信について 【座学】 ・自社の情報発信の内容（モノ、ヒト、コト、こだわり、地域性など）整理 ・6次産業化に取り組む農業者のための食品表示 【実践活動】 ・フードメッセinにいがた2026に向けた情報発信スケジュールの立案 ・6次化大賞エントリーに向けたアドバイス	新潟県地域プランナー ・遠藤智弥 ・本間真弓 前年度フードメッセ出展者	新潟県農業大学校
第3回	10月28日	水		○「商品情報発信仕組みづくり」を活用した販路開拓 【座学】 ・自社商品の情報整理（セールスポイント、こだわり、社会共感など） ・フードメッセ等様々な商談に向けた準備、心構え 【実践活動】 ・フードメッセinにいがた2026出展を契機にした販路開拓の目的と手法	新潟県地域プランナー ・遠藤智弥 ・中俣順弥	新潟県農業大学校
第4回	11月4日	水		○実践活動（フードメッセinにいがた2026 出展）事前確認 ・FCPシートによるセールスポイントの整理・確認 ・商談に向けた目的と手法の整理・確認 ○異業種との連携交流事例研究① ・飲食業者ニーズからみた商談の留意点	新潟県地域プランナー ・遠藤智弥 ・円山広克	新潟県農業大学校
第5回	12月1日	火		○実践活動（フードメッセinにいがた2026 出展）事後確認 ・商談後の取り引きに向けた留意事項 ○異業種との連携交流事例研究② ・「食の1.5次産業」確立に向けた経済循環ビジョン	新潟県地域プランナー ・遠藤智弥 ・椎葉彰典	新潟県農業大学校

※1 最終的に、受講者が自主的に取り組める「商品情報発信や販売などの経済活動を運営できる仕組み作り」を目指します。

※2 仕組み作りのために、座学・グループ研究・先進事例研究などを行います。

※3 実践活動として、11月11～13日に開催されるフードメッセinにいがた2026への出展が可能です。

※4 別途開催される「商品開発や販路拡大等に挑む小さな芽を育てる基礎研修」と併せて受講することも可能です。